

わくわくワークショップ 第4回 図画工作科

「立体作品に挑戦！～電動系のこぎりを使って～」

R6 8. 2



ワークショップメニュー

はじめに 本日の予定

○ **14:00~14:02**

1 自己紹介(勤務校、経験年数、担当学年・・・など)

○ **14:02~14:07**

2 題材について

○ **14:07~14:15**

ワークショップメニュー

3 いっしょにやってみましょう

- 「電動糸のこぎりを使って 抽象立体づくりに挑戦！」
製作・鑑賞 **14:15～14:55**

★適当に休憩もしてください。

4 おわりに

- 気が付いたことなどを共有 **14:55～15:00**

2 題材について

【図画工作科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次の通りに育成することを目指す。

2 題材について

【図画工作科の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発送や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

2 題材について

【第5学年及び第6学年の目標】 ★学習指導要領より★

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり、表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、造形的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、作りだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

2 題材について

「立体」とは？

立体・・・自分の感じたことや思ったことなどを表す

工作・・・意図や用途がある程度明確で、生活を楽しくしたり、伝え合ったりするものなどを表す

2 題材について

学年	日本文教出版 立体に表す 題材名	学年	開隆堂出版 立体に表す 題材名
1	ねんどで ごちそう なにつくろう？	1	すきなもの いろいろ あるね
1	いっしょに おさんぽ	1	いろんな ともだち はなしだす
1	はこで つくったよ	1	くしゃくしゃ だいへんしん
2	にぎにぎ ねん土	1	はこと はこを くみあわせて
2	くしゃくしゃ ぎゅっ	2	こんにちは むぎゆたん
2	ともだちハウス	2	つんで ならべて びっくりしタワー
2	おもいでを かたちに	2	ふたりは なかよし
3	切ってかき出しくっつけて	3	生まれかわった なかまたち
3	トントン どんどん くぎうって	3	けずってつけて わたしたちの形
3	だんボールの形をかえて	3	みんなで つくろう ねん土ランド
3	ねん土マイタウン		

2 題材について

学年	日本文教出版 立体に表す 題材名	学年	開隆堂出版 立体に表す 題材名
4	ねん土の板を立ち上げて	4	お気に入りの形
4	のこぎりギコギコ	4	どろどろカッチン
4	ようこそ！ゆめのまちへ	4	直線と曲線から生まれる形
5	糸のこスイスイ	5	ねん土で動きをハイ、ポーズ！
5	美しく立つはり金	5	ぺたんこねん土でつくってみると
5	のぞいてみると	5	だんボールでためしてつくって
5	ミラクル！ミラーワールド	6	形の中に入れてみると
5	けずって見つけたいい形	6	ねん土の板から生み出す形
6	光の形	6	白くなったら見える世界
6	固まった形から		
6	水の流れのように		
6	未来のわたし		

2 題材について

県の図画工作部会の提案より

研究主題

感じる ひろげる つなげる

～造形的な見方・考え方を働かせ、
意味や価値をつくりだす子どもの姿を求めて～

【重点1】

意欲を高めるための
「課題設定」

【重点2】

思いやイメージを
膨らませるための
「自他との対話」

【重点3】

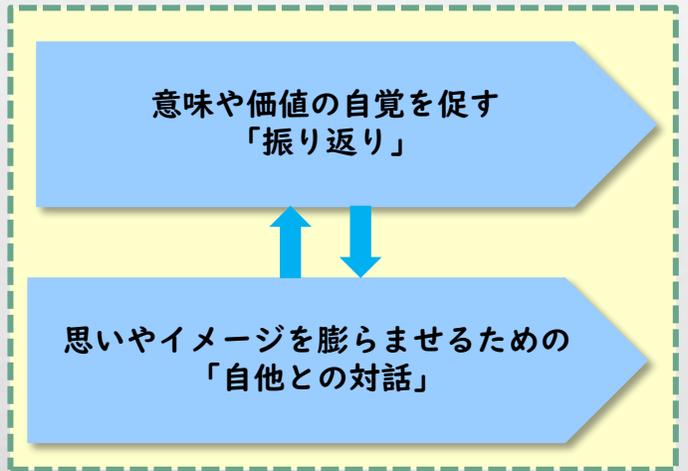
意味や価値の自覚を促す
「振り返り」

【研究構想図】

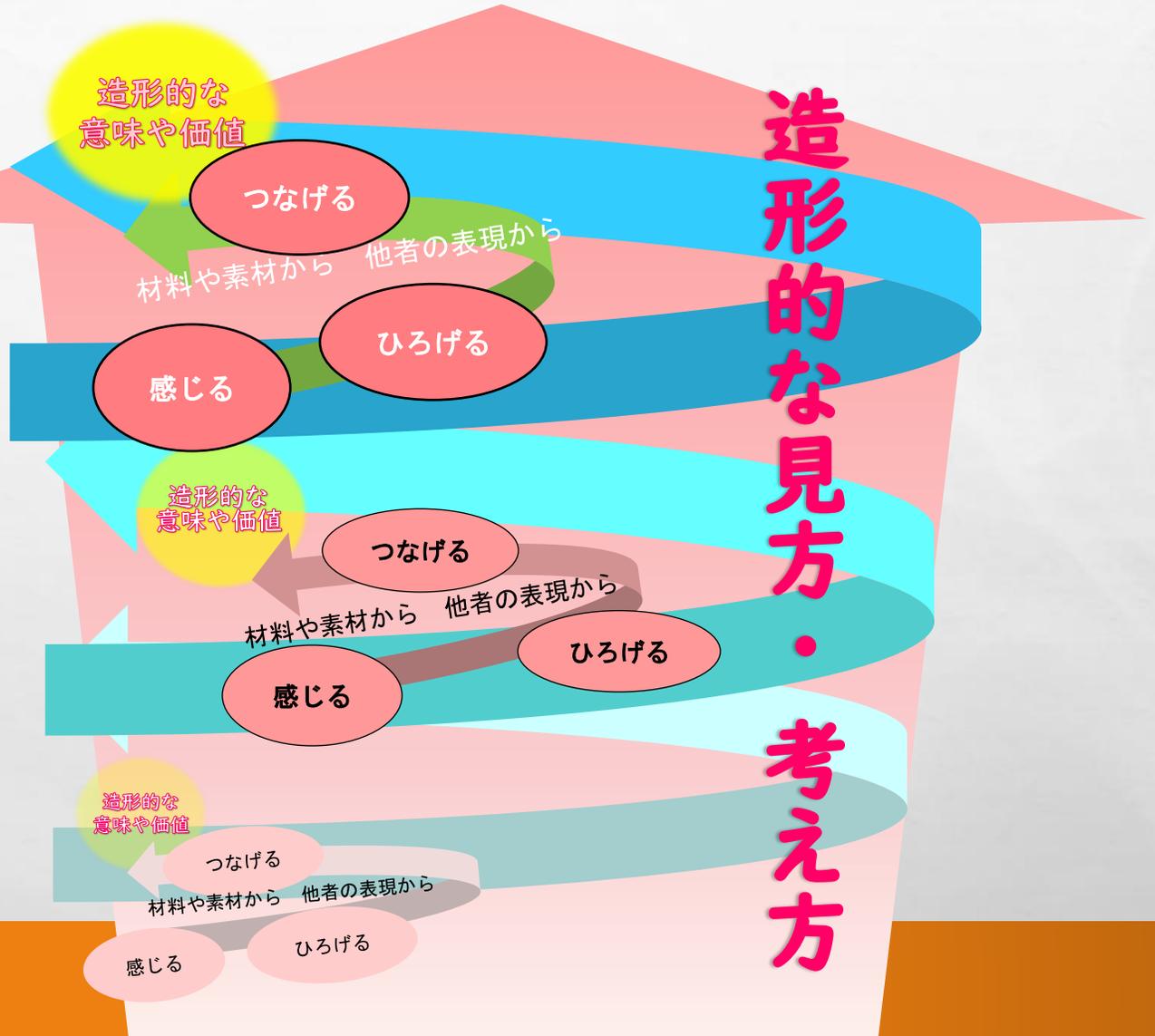
〈題材目標の達成〉

造形的な見方・考え方

題材を通した表現における伸びの自覚
新たな表現への発展意欲



意欲を高めるための
「課題設定」



〈題材に対する自分の思いや願い〉

2 題材について 教科書より

日本文教出版 5・6年上 ~糸のこスイスイ~

糸のこスイスイ

電動糸のこぎりを使うと、自由な線で板を切ることができる。できた形を組みんで、いいなと思う形をつくろう。

- 切ったり組んだりした形の、動きやバランスなどを確かめる。
- 板の切り方や、形の組み方をくふうする。
- 自由に切ったり組みかえたりしながら、つくりたい形を考える。
- つくった形のよさを味わい、楽しみ方を考える。
- 板を自由に切ったり組みかえたりしてつくることを楽しむ。

固定しないで、いろいろな形に組みかえられるようにしたよ。

◆ 不思議な森 [高さ48cm]

◆ カクカク [高さ23cm]

うずの形やなめのにびる形を生かして組んだら、波のようになった。おしよせてくるような動きを感じたよ。

よさや美しさを感じる。切り方や組み方はどれかな。

おしよせる海の波 [高さ38cm]

カラフルな森の中へ [高さ25cm/組め具]

◆ [高さ27cm]

切りこみのつくり方

- 板のあつさに合わせて、印をつける。
- 電動糸のこぎりですれないうちに切る。

ポイント
板をゆっくり回して切る。

切りこみを組み合わせよう

いくつか切りこみをつけて、組み方を試そう。

18 電動糸のこぎりについては62・63ページ。

注意 糸の進む方向にぞつ時に手を置かない。

安全のついでに 電動糸のこぎりや、取りこまれた糸を必ずお掃除してください。

安全のついでに 切ったり組んだりした形の、お部屋に入りはじかない。

19

2 題材について 教科書より

開隆堂出版 5・6年上 ~糸のこの寄り道散歩~

この本

糸のこの 寄り道散歩

手の動かしかたをさまざまに試し、あっちに行ったり、こっちに行ったり、ゆっくりと散歩するように、板を思いのままに切ってみよう。
 気に入った形を組み合わせて、どんなものができるかな。

学習のめあて

- 板の切り方や組み合わせ方をくふうしよう。
- 曲線切りをした板の形から表したいものを考えよう。
- 電動糸のこぎりで板を切ることをたのしもう。

思いのままに板を切れるようになろう。

みんな、それぞれちがう形ができたね。

板を斜めかく回転させたら、かっこいい形ができたよ。

海山の森かいぞ (高さ37cm)
 「森の感じが出来るように、切った板を組み合わせてみました。」

空の木のメッセージボード (高さ37cm)
 「木、草、水、雲など、やわらかな自然の形を組み合わせてつくりました。コルクの板のときにはメモをはさむことができます。」

動物たちの森 (高さ31cm)
 「切り取った形からいろいろな動物を思い浮かべました。」

曲線に切った板の形からイメージを広げよう。

白い樹 (高さ30cm)
 「木の色が知に入ったので、色を塗りませんでした。」

不思議な森の小物入れ (高さ22cm)

板の角やからを紙やすりでよくみがく。

木切れを糸で木にして受える。

あなを開けて、りもつすることもできる。

●きれいに仕上げよう

水さじ1杯の貝に木工用接着剤を混ぜてぬると、切るときれいに仕上がる。先にとそうしておいて、あとで組み立てることもできる。

安全

電動糸のこぎりを使うときは、はの前に手や指を出さない。

14 電動糸のこぎり / scroll saw 電動糸のこぎりや紙やすりの使い方は、54・55ページを見よう。 15 ふじかえり 電動糸のこぎりの使い方に慣れてたかな。

2 題材について

【重点1】 意欲を高めるための「課題設定」

やってみたい！ 面白そう！ 自分ならこうしたい！

題材との出会わせ方の工夫

教師の作品例の提示



2 題材について

○ 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ 電動系のこぎりを使って板をいろいろな形に切り、組み合わせて表すときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。・ 表現方法に応じて電動系のこぎりや紙やすりを活用するとともに、板材や水彩絵の具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	<ul style="list-style-type: none">・ 動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、板を切り分けたり、組み合わせたりしながら感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。・ <u>動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</u>	<ul style="list-style-type: none">・ つくりだす喜びを味わい、主体的に電動系のこぎりを使って板をいろいろな形に切り、組み合わせて表す学習活動に取り組もうとしている。

2 題材について

○ 評価規準

各教科における評価の基本構造

教科書の「学習のめあて」「活動の後で」は、資質・能力の三つの柱に基づいて設定しています。

学習指導要領に示す
目標や内容

知識及び技能

思考力, 判断力,
表現力等

学びに向かう力,
人間性等

観点別学習状況評価の
各観点

- ・観点ごとに評価し、児童生徒の学習状況を分析的に捉えるもの
- ・観点ごとにABCの3段階で評価

知識・技能



思考・判断・表現



感性,
思いやりなど
※個人内評価

主体的に学習に
取り組む態度

国立教育政策研究所教育課程研究センター「学習評価の在り方ハンドブック」参考

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

小学校

図画工作



文部科学省
国立教育政策研究所
National Institute for Educational Policy Research

教育課程研究センター

★ 学習指導要領より ★

【共通事項(1)】

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
ア	自分の感覚や行為を通して、形や色に気付くこと。	自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。	自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。
イ	形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分の <u>イメージ</u> をもつこと。

2 題材について

○ 授業後に期待する子供の姿

用具(電動糸のこぎり)を使い、自ら作りだした材料を使って、自分なりの思いをもって考え、組み合わせながら表そうとする



抽象

2 題材について

○ 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ 電動系のこぎりを使って板をいろいろな形に切り、組み合わせて表すときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解している。・ 表現方法に応じて電動系のこぎりや紙やすりを活用するとともに、板材や水彩絵の具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	<ul style="list-style-type: none">・ 動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に、自分のイメージをもちながら、板を切り分けたり、組み合わせたりしながら感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。・ <u>動き、バランス、色の鮮やかさなどを基に自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</u>	<ul style="list-style-type: none">・ つくりだす喜びを味わい、主体的に電動系のこぎりを使って板をいろいろな形に切り、組み合わせて表す学習活動に取り組もうとしている。

抽象のよさ

2 題材について

【重点1】 意欲を高めるための「課題設定」

やってみたい！ 面白そう！ 自分ならこうしたい！

題材との出会わせ方の工夫

教師の作品例の提示

どんな
作品例を
提示
するか？

2 題材について

大きなぐるぐるが
お気に入りだよ

全部のパーツを違う色に
塗ったよ

ぎざぎざ
うねうね
いろんな形に
切って組み合わせたよ

不思議なつながりを
イメージしたよ

「カラフルなつながり」



3 いっしょにやってみましょう

課題設定：「」

題材設定：全6時間

- 第1時……電動糸のこぎりの安全な使い方を知り、活動の見通しをもつ。

- 第2時～第4時…板をいろいろな形に切ることを楽しみ、面白い形を考えながら組み合わせを工夫して表す。

- 第5時～第6時…切った板材に着色し、形と色の組み合わせを考え、工夫して表す。作品を見合い、形や組み合わせの面白さやよさについて話合う。

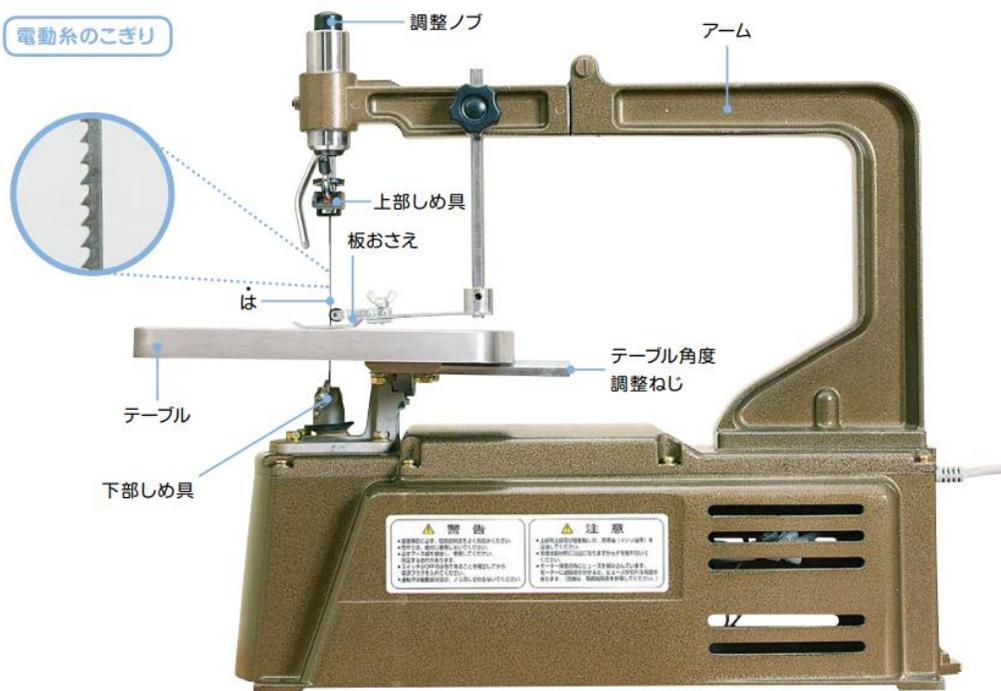
アクリル絵の具、ポスターカラー
などがオススメ！

3 いっしょにやってみましょう

- ① いろいろな形に切ってみよう・・・8～10パーツに分ける
(下描きの線なし！思い切って切り始める！！)

電動糸のこぎりで木を切ろう

電動糸のこぎり



はの取り付け方

はの向き

はは手前に向けて下向きになるように付ける。はの上下の向きを間違えないようにする。

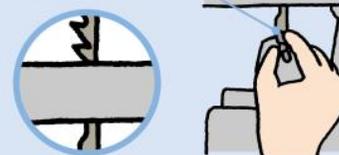
はの下側には、切り口をきれいにするための返しがついている。



取り付け方

1

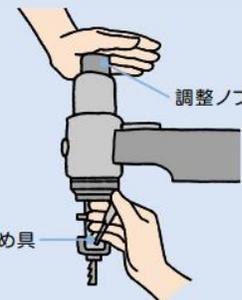
下部しめ具



はの向きをたしかめて下部しめ具に差しこみ、固定する。返しは、1～2こテーブルの上に出す。

2

上部しめ具



調整ノブをおし、下げて、はの上側を上部しめ具に差しこみ、固定する。調整ノブからゆっくりと手を放す。

かたづけ

折れたはは、決められた場所にまとめてする。



きをつけよう

はを付けかえている時や、使い終わった後は、必ずプラグをぬいておく。



3 いっしょにやってみましょう

② 切ったパーツを 組み合わせて
立体作品にしよう

③ 作品に 題名を つけよう(鑑賞タイム)



アンケートのお願い

ご参加いただいた皆様の声を基に、今後のワークショップをより充実させていきたいと考えております。
アンケートにご協力ください。忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。



Instagramのご案内



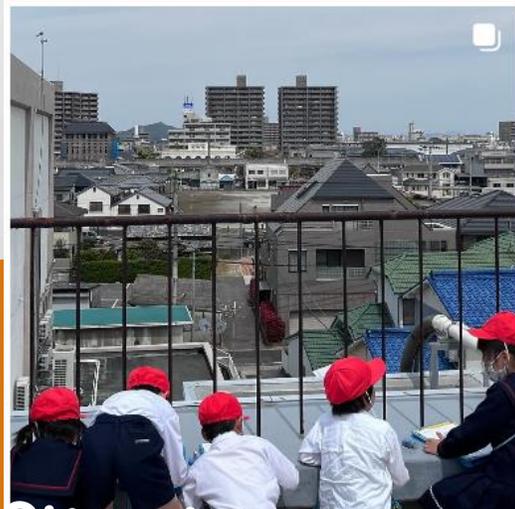
第1回 教師と子供、子供同士を
"つなぐ"教師の手立て

4.26 金 第一部 (16:00-16:30)
第二部 (16:30-17:00)

第一部 学級経営について
○ クラスの盛り上げ方
○ 係・当番の運営の仕方
○ みなさんのお悩み相談会 など

第二部 運動会について
○ 目的意識のたせ方
○ 表彰の振り付けのアイデア
○ 表彰指導のポイント など

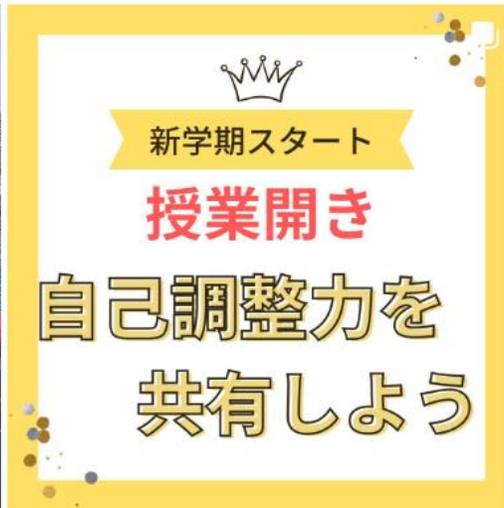
オンライン専用で行います！
途中参加OK、途中退室OK！



新学期スタート

授業開き

自己調整力を
共有しよう



Please Follow Us!

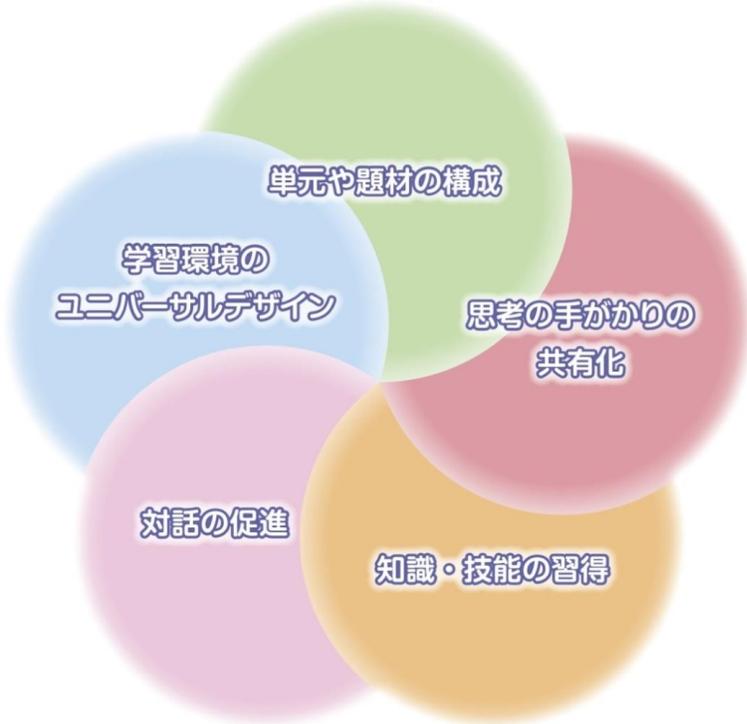
主体的 対話的で深い学びの実現に向けて

全218ページ

フルカラー

姿を変える

～5つの視点～



香川大学教育学部附属坂出小学校

第4学年 算数科 実践例②

1より大きい分数の仕組みを調べよう

目指す子どもの姿

学びに向かう力・人間性等

思考力・判断力・表現力等

知識・技能

1より大きい分数の意味と表し方を知るとともに、同分母分数の加減計算ができる。また、大きさの等しい分数があることを知る。

分数の大きさに興味をもち、大小比較や加減計算のしかたについて対話しながら、分数の大きさについての感覚を豊かにしている。

単元構成 (全9時間)

数直線や図等を使って、1より大きい分数の大きさを調べたり、同じくしたりした後、大小比較や加減計算、また、それらの問題づくりに挑戦しながら分数についての理解を深められるようにします。

第一 次

1 2 仮分数を数直線に表して、大きさを調べよう

1より大きい分数の表し方を確認した後、「もついろいろな分数がう子どもの算盤を基に、仮分数をつくらせ、数直線や図等に表し

3 (4) 仮分数の大きさを分かりやすく表す方法を見つけよう

4 (3) 同じ大きさの分数を見つけよう

さまざまな仮分数をつくり、数直線に表す中で、「分子が大きくなると同じ大きさの分数があること」に気付くことが想定されます。設定し、解決していきます。

5 6 仮分数、帯分数、整数の大きさの比べ方を考えよう

「仮分数は帯分数や整数で表せること」「整数は分母の異なる仮分数で、大きさ比べに挑戦させます。そして、大きさ比べの方法を確認することで、十分に理解できていない点を明らかにしていきます。

7 8 仮分数、帯分数、整数が混じった問題に挑戦しよう

大きさ比べの方法を使って、加減計算に挑戦させます。ここで十分に理解できていない点を明らかにするとともに、それらについて対

第二 次

9 さまざまな問題に挑戦しよう

授業の終わりに、自分の作品を振り返る時間を取ります。作品の上にもう一度透明のシートを重ねて、次にしたい工夫を書き込めます。友達と伝え合う時間を取ってよいと思います。

UD 透明のシートの上に、形の工夫は黒色の工夫は赤、次にしたい工夫は青で色分けして書き込め、友達と伝え合う時に視点が分りやすくなります。

下の方に花柄をかいた。花をぐちゃぐちゃと塗ったら、動く花柄になりそうだな。目もしよう。

次の時間のはじめには、前時にシートに書いた工夫を確認したり、友達と伝え合ったりしてから制作を始めます。途中で表し方の工夫を伝え合い、最後に作品を振り返り、次の工夫を考えます。

あらわしたいまじりもの

いろいろな工夫

どんな生き物を表したいか思っているのか、そのために何を工夫していくのかを確認し、活動の共通しをもたせます。

表し方の工夫の視点を明確にし、共有することで、友達の工夫のよさが分り、認め合えるようになります。

自分の表し方の工夫について友達と対話することで、自分が得意な具体的な工夫の数を増やし、次時につないでいきます。

6 作品を紹介し合おう

対話 「聞き合いの手引き」を想起させてから、鑑賞をします。

これは「僕のふしぎなお花畑」です。洗濯ばさみを並べて押して花に染めた。黄色と赤にして、明るくしました。

周りは黄緑や青で、赤だ。花の黄色や赤が目立っている。

花がここにいてかっこいい。こんな花が本当にあったらいい。

ありがとう。洗濯ばさみを並べて押していたら、花に染めたから、他の形も使ってみました。

香川大学教育学部 附属坂出小学校

香川大学教育学部
附属坂出小学校
教育研究発表会

2025年
(令和7年)

1月31日 (金)

お会いできるのを
楽しみにしております。

多様な他者と共に、
自ら学びを進める子供の育成
(2年次)
～自己調整力 を育てる学習の展開～



授業実践

国語・社会・算数・理科
生活・音楽・図画工作
家庭・体育・道徳
保健室経営 (実践提案)

全16本

トークセッション



木村 明恵先生
桃山学院教育大学

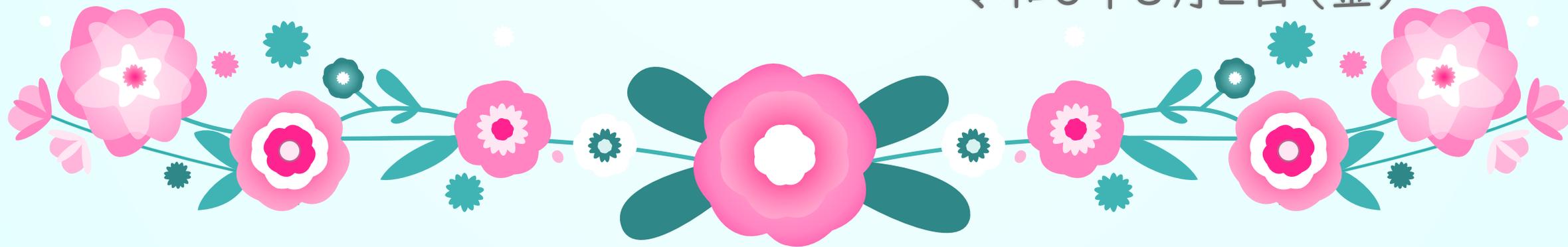


岡田 涼先生
香川大学

令和7年
1月
31日(金)

第4回
わくわく授業づくり
ワークショップ
家庭科

令和6年8月2日(金)



家庭科の目的

生活をよりよくしようと工夫する
資質・能力の育成

3つの領域

A 家族・家庭生活

B 衣食住の生活

C 消費生活・環境

家庭科の見方・考え方

協力・協働

健康・快適・安全

生活文化の継承・想像

持続可能な社会の構築

6 生活を豊かにソーイング



布で作られたふくろはどのように使われているのだろうか?

学習のめあて

- 1 見つける 身近なふくろを観察して、目的に応じた工夫に気づく。
- 2 わかる 布を使って生活に生かすふくろを作ることができる。
- 3 生かす 作品の製作や活用を通して、これからの生活に生かす工夫ができる。

1 どのようなふくろを、どのように使っているだろう

わたしたちは学校や家庭でどのようなふくろを使っているでしょうか。また、それらをどのように使っているのでしょうか。使いやすいふくろの特徴を観察してみましょう。

身近なふくろに注目すると、使う目的によって、形や大きさ、布の種類もさまざまです。ふくろは、使う目的に応じてどのような工夫がされているのでしょうか。

2 目的に合ったふくろを作ろう

① どのようなふくろを作ろうかな

わたしたちは、これまでに、手ぬいやミシンを使って布をぬえるようになりました。生活を快適にしたり、便利にしたり、楽しくしたりする布製品があると、使ってみたくなったり、作ってみたくなったりしませんか。

生活に役立つふくろを作るには、目的に合った形や、物を出し入れしやすいゆとりを考えます。さらに、どのような工夫をするとよいでしょうか。

■ ふくろ作りの計画の進め方



うわばきを入れるにはどのくらい大きさが必要な。



手さげ型たて



よこ



きんちゃく型



ナップザック

Q 調べよう

目的に合ったふくろを作るために、どのような工夫ができるか、調べて書いてみよう。

入れる物の大きさを測ることが大切だね。ゆとりはどうしよう。

自転車に乗るときはナップザックだと、背負って便利ではないかな。

じょうぶな布でじょうぶなふくろを作りたいな。



ボールを持ち運ぶふくろには、出し入れ口をしばる形がいいな。

まちをつけるといって聞いたけれど、「まち」って何だろう。

③ ふうろの製作せいさく (製作例①②を参考にして、自分の作品を作ろう。) ▶ Aページ「安全に実習をしよう」

製作例①

マイバッグQR

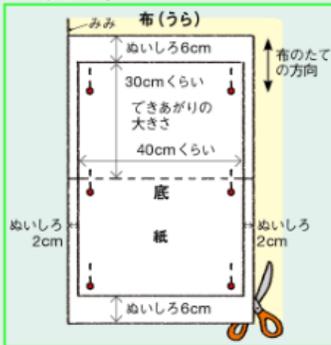


材料

布……………厚手の綿わたの布など
(じょうぶでぬいやすい布)
糸……………ミシン糸(布と合った色)
手ぬい糸、しつけ糸
平ひも 持ち手の長さの2倍、1mくらい

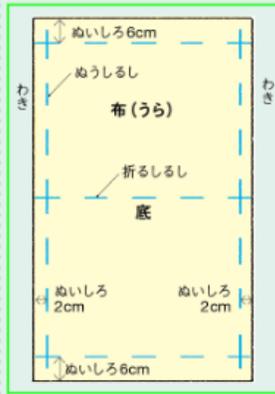
1 大きさを決め、布を裁つ

- ① 中に入れる物の大きさに、ゆとりを加え、できあがりの大きさを決める。
- ② できあがりのたての長さの2倍にぬいしろを加えた紙を用意する。
- ③ 布の上に紙を置き、まち針でとめ、布を裁つ。



2 しるしをつける

布のうらに、できあがりの大きさのしるしをつける。



3 わきをぬう

- ① 布を中表にして2つに折る。
- ② わきにしつけをしてぬう。

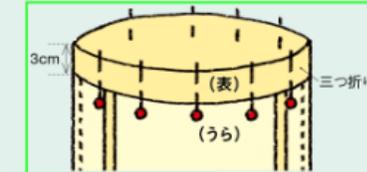


▶ 45ページ「しつけの仕方」

ミシンでぬった後しつけ糸を取ろう。

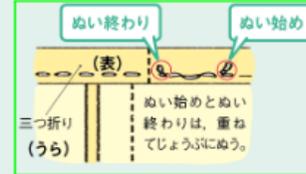
4 出し入れ口をぬう

- ① 出し入れ口を三つ折りにしてとめ、ぬう(しつけをするとよい)。



▶ 47ページ「三つ折りぬい」

- ② 出し入れ口をぬう。



5 ひもをつけ、仕上げをする

- ① 平ひもを仮にとめて位置と長さを確かめる。
- ② ひもをぬいつける。
- ▶ 107ページ「ひものつけ方」
- ③ アイロンをかけて仕上げる。

お気に入りの布で作って、ネームプレートもつけました。



製作例②

きんちゃくポーチQR

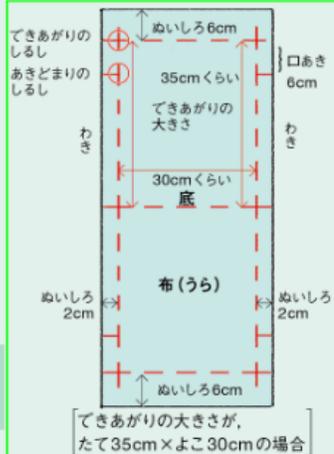


材料

布……………じょうぶな綿わたの布
糸……………ミシン糸、手ぬい糸、しつけ糸
丸ひも……………よこの長さの6倍くらい
(ナップザック型にする場合のひも)
丸ひも……………よこの長さの8倍くらい
平ひも わきにはさむひも、15cmくらい

1 大きさを決め、布を裁ち、しるしをつける

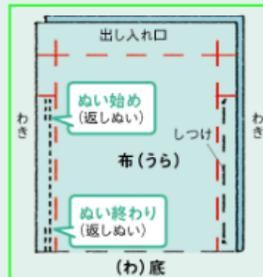
(手順はマイバッグと同じ)



できあがりの大きさが、たて35cm×よこ30cmの場合

2 わきをぬう

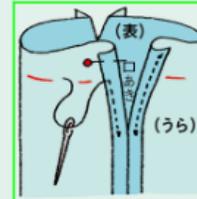
- ① 布を中表にして折り、▶ 44ページ「ひとロメモ」
ミシンでわきをぬう。



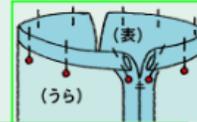
ナップザック型の場合は折った平ひもを底にはさんでとめる。
返しぬいなどで、じょうぶにぬう。

3 出し入れ口をぬう

- ① わきのぬいしろを開き、口あきのわきをぬう。



- ② 出し入れ口を三つ折りにしてとめる(しつけをするとよい)。



▶ 47ページ「三つ折りぬい」

4 ひもをつけ、仕上げをする

- ① 表に返し、出し入れ口に両方から丸ひもを通す。
アイロンをかけて仕上げる。



▶ 107ページ「ひものつけ方」

(ナップザック型)

できたかな [ふうろの製作]

- 生活を豊かにする布のふうろを考え、製作を工夫できた。
- 計画した通りに作ることができた。

主に、
健康・快適・安全
生活文化
の視点で考えよう
リンク p.4
家庭科の窓

あなたの生活を便利で豊かにするために、布を使ったどんな物があればよいでしょうか。自分で工夫して計画し、目的に合った作品を製作して、生活をさらに豊かにしましょう。



ステップ 1
目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう

ステップ 2
計画を立てて、工夫して作ろう

ステップ 3
衣生活を楽しく豊かにしよう

活動1 考えよう

身の回りにある布製品を観察しましょう。どのような布製品が使いやすいか、丈夫で長く使えるかなど考えてみましょう。

見つけよう

ステップ 1
目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう

めあて 目的に合ったふくろなどを製作するために必要なポイントを考えよう。

布は形を自由に変えられ、しなやかに物の形や動きに沿うことができます。そのため、体をおおう衣服はもちろん、物を保護したり、物を入れ、持ち運びやすくしたりするためにも役立っています。作ったり買ったりした布製品について、形や大きさが使う目的に合っているか、布の種類や性質を調べ、便利に長く使うために、どのような工夫をしているか考えてみましょう。

手ぬいでマイ・ミニバッグを作ったときのことを思い出そう
リンク p.28



これまでの学習を生かして、生活で使うふくろなどについて、自分が作ってみたい物をイメージしてみましょう。布を使って目的に合った作品を作るためには、だれがどのように使うのか、何を入れるのか、使う人の好みの布の色やがら、入れたい物の入る大きさや形などについて考えることが大切です。

活動2 やってみよう

作りたいふくろやカバーをイメージして図に表してみましょう。

(自分)の(学校用のトートバッグ)のイメージ図

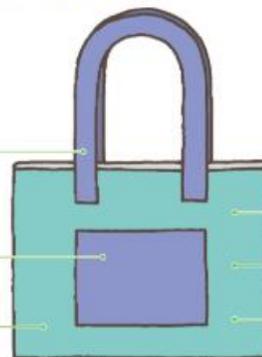
●目的

6年生になったら荷物が増えたから、使いやすい自分用のバッグを作りたい。

かたにかけられる長さの持ち手。

小物を取り出せるポケット。

よごれたら洗濯して長く使える布。



荷物が多いから丈夫でゆとりのある大きさ。

好きな緑色。

横長の形。

図1 ふくろやカバーを製作するために必要なポイント

①だれがどう使うか
・入れたい物
・出し入れのしやすさ
・持ち運びやすさ など

②どんな形にしたいか
・きんちゃく
・トートバッグ など

③どんな布が適しているか
・うすい布、厚い布
・かたい布、やわらかい布

クッションカバー



好きな色やがらの布で部屋が楽しくなりそう。

トートバッグ



自分だけのふくろを使うことが楽しみだ。

きんちゃく



よごれたら洗ってたくさん使いたいな。

どんなクッションが家にあったらうれしいか、家族に聞いて作りたいな。



ほかに大事なポイントは何かな。これまで使ったことのあるふくろやカバーで、使いやすい物や使っていて困ったことを思い出して考えよう。

クッションカバー



1 計画・準備する 2 製作する

- ① 目的に応じた大きさを決め、材料や分量を確かめる。
- ② 材料や用具を準備する。

材料と分量

- 布 (綿) ……たて50cm×よこ104cm
- ミシン糸 ●しつけ糸

必要な用具

ものさし、チャコえんぴつ、たちばさみ、糸切りばさみ、まち針、手ぬい針、針さし、ミシン、アイロン

入れたい物の例

家にあるクッション (中身)

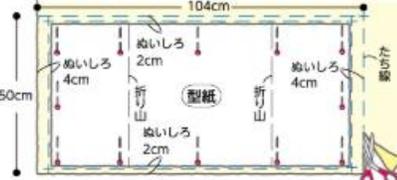


季節に合わせて布の色や素材を変えたら、生活が楽しくなりそうだね。



- ① チャコえんぴつで布にのしを付ける。
- ② 外側ののしに沿って、たちばさみで布をたつ。

🔗 [リンク](#) p.136, 137



- ③ 出し入れ口を三つ折りにしてまち針でとめ、ぬう*。



きんちゃく

1 計画・準備する 2 製作する

- ① 目的に応じた大きさを決め、材料や分量を確かめる。
- ② 材料や用具を準備する。

材料と分量

- 布 (綿) ……たて82cm×よこ36cm
- ひも…1m×2本
- ミシン糸 ●しつけ糸

必要な用具

ものさし、チャコえんぴつ、たちばさみ、糸切りばさみ、まち針、手ぬい針、針さし、ミシン、アイロン、ひも通し

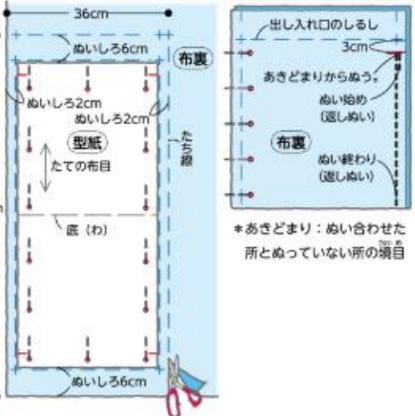
入れたい物の例

体操着

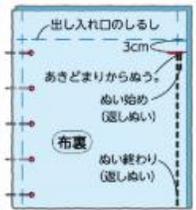


- ① チャコえんぴつで布にのしを付ける。
- ② 外側ののしに沿って、たちばさみで布をたつ。

🔗 [リンク](#) p.136, 137



- ③ 底 (わ) で中表に二つ折りにする。
- ④ 左右のわきののしを合わせて、あきどまり*からぬう。



*あきどまり: ぬい合わせた所とぬっていない所の境目

3 仕上げる

- ④ 折り山で折って上下ののしを合わせ、まち針でとめる。4cmずつ重ねる。



- ⑤ 上下ののしをぬう*。



- ⑥ 表に返してアイロンをかけ、クッションを入れる。

🔗 [リンク](#) p.136



4 かたづける 5 ふり返る

- ④ 使った物を元の状態にかたづける。
- ⑤ そうじをする。

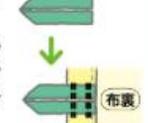
- ① 計画どおり手順よく作れたかふり返る。
- ② 実際に使ってみて形や大きさ、ぬい方が通っていたか確かめる。

私の工夫 ボタンを付ける



- ① 7cmのリボンを2本準備して二つ折りにする。
- ② 出し入れ口の重なっている部分の上の布の裏にリボンを付ける。下の布にボタンを付ける。

🔗 [リンク](#) p.28, 134



家庭科の目的

生活をよりよくしようと工夫する
資質・能力の育成

3つの領域

A 家族・家庭生活

B 衣食住の生活

C 消費生活・環境

家庭科の見方・考え方

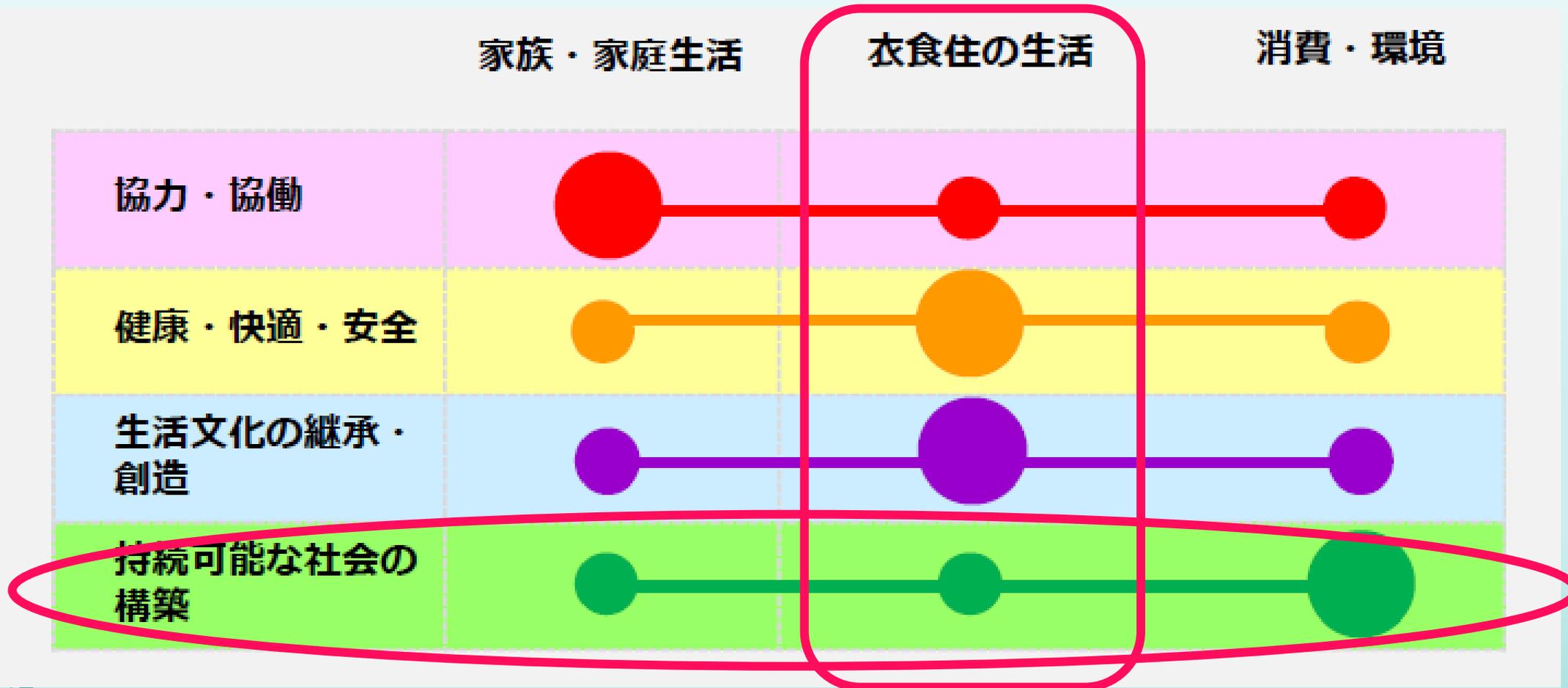
協力・協働

健康・快適・安全

生活文化の継承・想像

持続可能な社会の構築

各領域で主に働かせる家庭科の見方・考え方



B 衣食住の生活

健康・快適・安全

生活文化の継承・想像

B(5)「生活を豊かにするための布を用いた製作」

◎衣生活の課題を解決する力

◎衣生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度

を育成

、生活の中にある**布を用いた物に関心**をもち、**布の特徴**を生かして
生活を豊かにするための物を考えて製作できるようにするとともに、
生活を楽しもうとする態度の育成につなげる

生活の中にある布を用いた物に関心を持ち、布の特徴を生かして
生活を豊かにするための物を考えて製作できるようにするとともに、
生活を楽しもうとする態度の育成につなげる

扱いやすさ

(しるしの付けやすさ

裁ちやすさ

ほつれにくさ

縫いやすさ)

丈夫さ

様々な色や柄 など

生活を快適に、便利
に

楽しい雰囲気を作る

その過程で、自分自

身が豊かな気持ち

に

生活に役立つ

身近な人との関わり

生活文化への関心



生活を豊かにする

生活の中にある布を用いた物に関心を持ち、布の特徴を生かして生活を豊かにするための物を考えて製作できるようにするとともに、生活を楽しまうとする態度の育成につなげる

扱いやすさ

(しるしの付けやすさ
裁ちやすさ
ほつれにくさ
縫いやすさ)

丈夫さ

様々な色や柄 など

キルティング



- 裏地を付ける必要がなく、家庭用ミシンでも扱いやすい
- 暖かい
- 丈夫なのに軽い
- 用途が幅広い
- シワになりにくい
- デザイン性が高い

生活の中にある布を用いた物に関心を持ち、布の特徴を生かして
生活を豊かにするための物を考えて製作できるようにするとともに、
生活を楽しもうとする態度の育成につなげる

ナツプサック



生活を快適に、便利に
楽しい雰囲気を作る
その過程で、自分自身
が豊かな気持ちに

生活に役立つ
身近な人との関わり
生活文化への関心
↓
生活を豊かにする

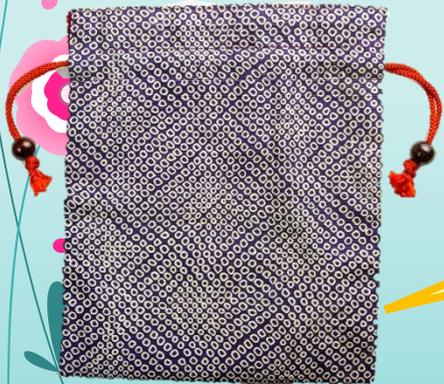
健康・快適・安全



修学旅行や遠足で移動するときに、筆箱やしおりを**持ち運びやすい**ね!

両手が空いて**安全**だね!

生活文化の継承・想像



同じ作り方でできる「**巾着**」は平安時代から**使われているよ!**

中に綿をはさんだ生地は、**はんてん**と同じだね!



協力・協働



家族の好きな色の布で、
家族にも作ってプレゼントしたい!

持続可能な社会の構築

着なくなった服から布を
とってバッグを作ると、
環境にもいいよ!



段階性のある題材配列

内容B 衣食住の生活（衣生活）
(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作

段階性

フェルトの小物づくり
(手縫い)



エプロン
(ミシン縫い)



トートバッグ
(ゆとりや縫いしろの必要性)



- 用具の安全な取り扱い
- 製作に必要な材料や手順
- 製作計画

平面的なものから立体的なものへ
基礎的なものから応用的なものへ
要素的なものから複合的なものへ

指導に当たっては、…製作手順の根拠について考え、製作の見通しをもつことができるよう配慮する。例えば、**布製品の実物**を観察して製作手順を考えたり、**段階見本**等を用いて確かめたりする活動などが考えられる。

計画、準備、製作、仕上げ、片付け…

効率的なのは…安全なのは…
→作業の順番を決める必要

- ①裁った布にしるし
- ②まち針(しつけ縫い)で布と布をとめる
- ③しるしを合わせる
- ④縫う
- ⑤縫い目を整える
- ⑥糸の始末
- ⑦アイロン…

大きさはどうやって決める？縫いしろやゆとりって？
ポケットをつけるのはいつ？
まちばりが必要なのはなぜ？
最初は裏表？なぜ？
布端の処理や糸の始末はなぜ必要？

指導に当たっては、…製作手順の根拠について考え、製作の見通しをもつことができるよう配慮する。例えば、**布製品の実物**を観察して製作手順を考えたり、**段階見本**等を用いて確かめたりする活動などが考えられる。



アンケートのお願い

ご参加いただいた皆様の声を基に、今後のワークショップをより充実させていきたいと考えております。
アンケートにご協力ください。忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。



おわりに

Instagramのご案内



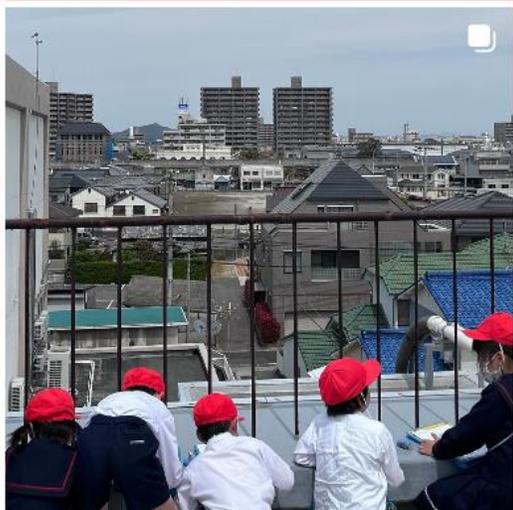
第1回 教師と子供、子供同士を
"つなぐ"教師の手立て

4.26 金 第一部 (16:00-16:30)
第二部 (16:30-17:00)

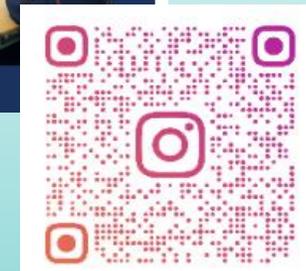
第一部 学級経営について
○ クラスの盛り上げ方
○ 係・当番の運営の仕方
○ みなさんのお悩み相談会 など

第二部 運動会について
○ 目的意識のたせ方
○ 表現の振り付けのアイデア など

オンライン専用で行います!
途中参加OK、途中退室OK!



新学期スタート
授業開き
自己調整力を
共有しよう



Please Follow Us!

主体的 対話的で深い学びの実現に向けて

全218ページ

フルカラー

姿を変える
～5つの視点～

単元や題材の構成

学習環境の

ユニバーサルデザイン

思考の手がかりの
共有化

対話の促進

知識・技能の習得

香川大学教育学部附属坂出小学校

第4学年

算数科 実践例②

1より大きい分数の仕組みを調べよう

目指す子どもの姿

学びに向かう力・人間性等

知識・技能

1より大きい分数の意味と表し方を知るとともに、同分母分数の加減計算ができる。また、大きさの等しい分数があることを知る。

思考力・判断力・表現力等

単元構成（全9時間）

数直線や図等を使って、1より大きい分数の大きさを調べたり、同じ分母たりした後、大小比較や加減計算、また、それらの問題づくりに挑戦し、課題解決しながら分数についての理解を深められるようにします。

①② 仮分数を数直線に表して、大きさを調べよう

1より大きい分数の表し方を確認した後、「もつ」という名で分数が表す子どもの服装を基に、仮分数をつくらせ、数直線や図等に表し

③④ 仮分数の大きさを分かりやすく表す方法を見つけよう

④③ 同じ大きさの分数を見つけよう

さまざまな仮分数をつくり、数直線に表す中で、「分母が大きいから」「同じ大きさの分数があること」に気付くことが想定されます。設定し、解決していきます。

⑤⑥ 仮分数、帯分数、整数の大きさを比べ方を考えよう

「仮分数は帯分数や整数で表せること」「整数は分母の異なるさまで、大きさを比べに挑戦させます。そして、大きさを比べの方法を確認することで、十分に理解できていない点を明らかにしていきます。

⑦⑧ 仮分数、帯分数、整数が混じった問題に挑戦しよう

大きさを比べの方法を使って、加減計算に挑戦させます。ここでは「理解できていない点を明らかにするとともに、それらについて対

⑨ さまざまな問題に挑戦しよう

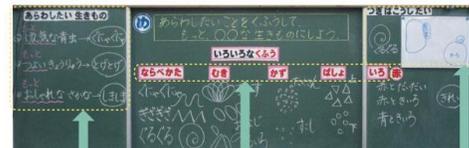
授業の終わりに、自分の作品を振り返る時間を取ります。作品の上にも一度透明のシートを重ねて、次にしたい工夫を背で書き込めます。友達と伝え合う時間を取ってもよいと思います。



下の方に花輪をかき足す。花をぐちゃぐちゃと塗ったら、丸く花輪に塗り足す。おもしろそう。

UD 透明のシートの上に、形の工夫は黒、色の工夫は赤、次にしたい工夫は青で色分けして書き込む。友達と伝え合う時に視点が分かりやすくなります。

次の時間のはじめには、前時にシートに書いた工夫を確認したり、友達と伝え合ったりしてから製作を始めます。途中で表し方の工夫を伝え合い、最後に作品を振り返り、次の工夫を考えます。



どのような生き物か表現したいか、共有することで、友達の工夫のよさが分かり、認め合えるようになります。

自分の表し方の工夫の視点を友達と共有することで、友達の工夫のよさが分かり、認め合えるようになります。

自分の表し方の工夫について友達と共有することで、友達の工夫のよさが分かり、認め合えるようになります。

⑩ 作品を紹介し合おう

対話 「聞き合いの手引き」を想起させてから、鑑賞会をします。

周りは興味や尊敬、羨望、花の黄色や赤が目立っている。

花柄にここにしているのがいいね。こんな花が本当にあったらいいね。



これは「顔のふしぎな花」です。洗濯ばさみをくくるって塗って花びらにしました。黄色と赤にして、明るくしました。

ありがとう。洗濯ばさみを塗って見せていたら、花に塗ったから、形の形も変わりました。

香川大学教育学部
附属坂出小学校



おわりに

香川大学教育学部
附属坂出小学校
教育研究発表会

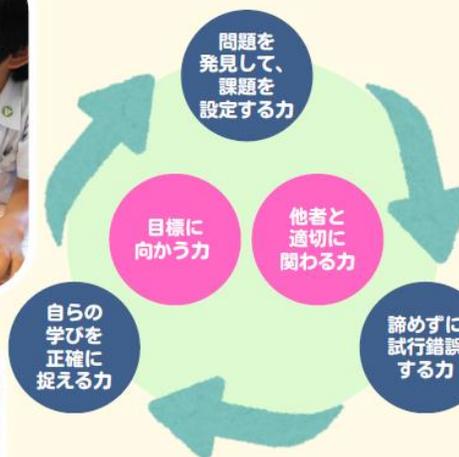
2025年
(令和7年)

1月31日
(金)

お会いできるのを
楽しみにしております。

第104回 教育研究発表会

多様な他者と共に、
自ら学びを進める子供の育成
(2年次)
～自己調整力 を育てる学習の展開～



授業実践

国語・社会・算数・理科
生活・音楽・図画工作
家庭・体育・道徳
保健室経営 (実践提案)

全16本

トークセッション



木村 明恵先生
桃山学院教育大学



岡田 涼先生
香川大学

令和7年
1月
31日(金)